

群馬県スポーツ推進計画(令和3年度～令和7年度)の概要について

基本的な考え方

計画策定の趣旨
 現行の「群馬県スポーツ推進計画」の計画期間が終了することから、「スポーツ基本法」や「群馬県スポーツ振興条例」の主旨を踏まえ、新たに策定します。

計画の期間
 令和3年度(2021年度)から令和7年度(2025年度)までの5年間とします。

スポーツの定義
 心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得等のために行われる運動競技その他身体活動全般をスポーツとして広く捉えます。

計画の位置付け
 この計画は、群馬県総合計画のスポーツ分野における最上位計画であり、スポーツ基本法第10条第1項に定める地方スポーツ推進計画です。

スポーツを取り巻く社会課題

人口減少・少子化の進展
 令和11年見込み 年少人口10.5% 老年人口32.8%

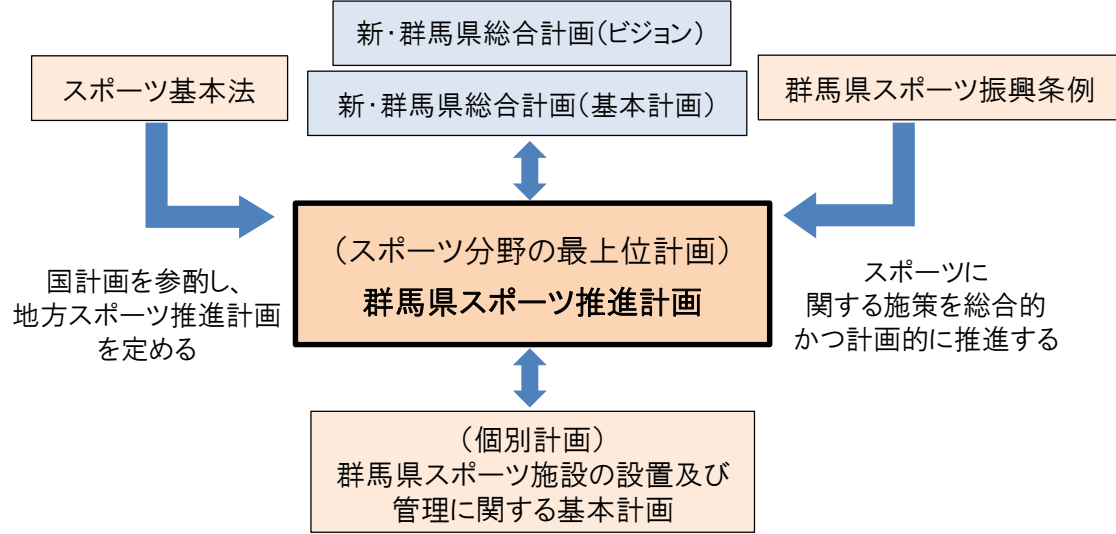
共生社会実現への障壁
 障害者のスポーツ・レクリエーション実施頻度(全国)
 週1回以上実施 20.8%(成人全般 55.1%)

地域コミュニティ機能の低下
 交流の減少、関係性の希薄化

アスリートの更なる育成と輩出
 本県選手の活躍 → 選手自身の自己実現 + 県民の誇りの醸成

新型コロナウイルス感染症の影響
 イベント・大会・部活動等の中止・延期 → 新たな生活様式に対応したスポーツのあり方の検討

◎体系図



群馬県が目指す姿

◎ 新・群馬県総合計画(ビジョン)
 年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、全ての県民が、誰一人取り残されことなく、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる社会

・デジタル化に基づく価値の創造(Society5.0)
 ・安全性・持続性ある社会の実現(SDGs)



◎ 群馬県スポーツ推進計画

○ 基本理念
 県民誰もがスポーツによって、自己実現を図り、健康で活力ある群馬県を創生する

○ 政策目標

I スポーツによる健康増進・生きがいづくり
 II スポーツによる共生社会の推進
 → 県民総活躍(誰一人取り残さない)

III スポーツによる活力ある地域創生
 IV スポーツの力による感動の創出と誇りの醸成
 → 官民共創、快疎空間のニーズ拡大

○ DX展開による新たな価値の創造
 デジタル技術を活用することで、スポーツが持つ新たな価値を創造し、ビジネス機会の創造・拡大や社会課題の解決につなげていく。

(スポーツ分野での展開)
 ・データ活用による選手のパフォーマンス向上
 ・バーチャル観戦、多視点映像、パワーや衝撃の可視化など新たな観戦体験
 ・パワードスーツの活用による障害者・高齢者の新たなスポーツ参加
 ・ビッグデータ解析による健康寿命の延伸

○ スポーツの成長産業化
 スポーツの持つ多面的な機能を踏まえ、他産業と融合することにより、新たなスポーツ市場を創出し、「スポーツによって収益を上げ、その収益をスポーツに再投資する」という好循環を生み出していく。

○ 二巡目国民スポーツ大会・障害者スポーツ大会に向けて
 開催基本構想は次の3本の柱で組み立て、それらを貫くコンセプトとして「共生社会の推進」に取り組んでいく。

・『新しいスタンダード』～コンパクトな大会を目指し、新しいスタンダードを示す大会～
 ・『未来につなぐ』～アスリートのチャレンジを応援し、未来につながる競技力を追求する大会～
 ・『アクティブぐんま』～県民の誇りを育むとともに、スポーツを通じた地域の活性化につなげる大会～

◎政策目標と主な取組

I スポーツによる健康増進・生きがいづくり

より多くの県民がスポーツに親しみ、**誰もが生きがいを感じ、元気に暮らせる**よう、身近な場所でスポーツができる環境を拡大するなどしてスポーツ参画人口を増加させます。



【施策】

- スポーツ参画人口の増加
- 地域スポーツを支える人材の育成と機会の充実
- 子どものスポーツ機会の充実
- 高齢者のスポーツ参加

【施策展開】

- ・時間と場所にとらわれないスポーツ体験
- ・ICTを活用した運動習慣の定着
- ・日常生活のスポーツ機会の拡大
- ・運動部活動の充実
- …運動動画の配信
- …ぐんま健康ポイント制度
- …総合型地域スポーツクラブの育成と支援
- …外部指導者の活用 等

指標	現状値(令和元年度)	目標値(令和7年度末)
スポーツ実施率(週1回以上)	30.1%	53.6%
総合型地域スポーツクラブ数	41	51
1週間の総運動時間(体育・保健体育の授業時間以外)の全国平均との差	小5男子…-4.5分	小学校・中学校ともに全国平均以上
	小5女子…-19.0分	
	中2男子…+33.6分	
	中2女子…+50.1分	
高齢者(60代以上)のスポーツ実施率(週1回以上)	40.1%	67.4%

II スポーツによる共生社会の推進

県民誰もがそれぞれのライフステージや状況に応じてスポーツに参画しやすい環境づくりを進め、**相互に理解・尊重できる社会**をつくれます。



【施策】

- 障害者のスポーツ参加
- 高齢者のスポーツ参加
- ライフステージの変化や性別に関わらないスポーツ参加

【施策展開】

- ・障害者スポーツの啓発・情報発信
- ・高齢者のスポーツ参加の促進
- ・女性のライフステージに応じたスポーツ参加の促進
- …各種障害者スポーツ大会の開催・選手派遣
- …スポーツ・レクリエーション等の普及
- …子どもとできるスポーツの普及と理解 女性指導者の育成 等

指標	現状値(令和元年度)	目標値(令和7年度末)
県障害者スポーツ大会の参加人数	1,772人	1,900人(令和8年度)
女性のスポーツ実施率(週1回以上)	29.6%	51.0%
高齢者(60代以上)のスポーツ実施率(週1回以上)(再掲)	40.1%	67.4%

III スポーツによる活力ある地域創生

地域に根ざしたプロスポーツや本県の自然を生かしたアウトドアスポーツ、近年注目を浴びつつあるeスポーツなどのスポーツ資源を活用して、**地域を活性化**します。



【施策】

- スポーツによる地域の魅力発信
- アウトドアスポーツによる交流人口の増大
- eスポーツ、アーバンスポーツによる地域経済の活性化
- スポーツ施設の有効活用

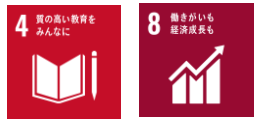
【施策展開】

- ・スポーツを中心とした官民共創
- ・観光産業と連携したスポーツツーリズムの推進
- ・eスポーツの普及・拠点化
- ・アーバンスポーツを活用した地域活性化
- …官民共創コミュニティによるスポーツの新展開
- …アウトドアスポーツの新たな拠点づくり
- …eスポーツに関連する大会・イベントの開催
- …アーバンスポーツに関連するイベント誘致 等

指標	現状値(令和元年度)	目標値(令和7年度末)
プロスポーツチームのホームゲームでの1試合あたり平均観客動員数(3チーム)	5,377人	7,000人
ぐんま県境稜線トレイル登山者数(谷川連峰・鳥居峠)	56,719人	65,000人
eスポーツに関連する大会等開催数(県が主催、共催、後援等するもの)	0件	4件
県内社会体育施設の利用人数	9,524,052人	現状値を維持

IV スポーツの力による感動の創出と誇りの醸成

本県ゆかりの**アスリートが活躍し、自己実現できる**よう支援するとともに、その活躍により**県民が感動を覚え、誇りを抱ける**ような社会をつくれます。



【施策】

- アスリートの発掘・育成
- アスリートをサポートする人材・組織の育成
- 競技力を向上させる環境の整備

【施策展開】

- ・ゴールデンエイジ・ジュニアの発掘・育成と強化
- ・競技力向上のための大学・企業等との連携
- ・ICTにより専門的な指導を受ける機会の拡大
- ・データを活用した科学的な選手育成
- …ゴールデンエイジ期の適切な育成プログラム指導
- …トップアスリートの県内就職支援
- …離れた場所で専門的な指導の提供
- …メディカルチェック等の実施 等

指標	現状値(令和元年度)	目標値(令和7年度末)
全国大会優勝者数・国際大会入賞者数	111人	150人
「アスリート・ジョブサポートぐんま」事業で採用したアスリートの人数	0人	10人(累計)
メディカルチェック・筋力測定実施件数(総合スポーツセンター)	303件	400人